

'90.7.26

日本標準商品分類番号
8 1 2 3 4 4

日本薬局方

## 炭酸水素ナトリウム

「カナダ」

### 効能・効果

(経口)

下記疾患における制酸作用と症状の改善。

胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防。

(含嗽・吸入)

上気道炎の補助療法（粘液溶解）

### 用法・用量

炭酸水素ナトリウムとして、通常成人1日3～5gを数回に分割経口投与する。

含嗽、吸入には1回量1～2%液 100mlを1日数回用いる。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

### ◎使用上の注意

(経口)

#### 1 次の患者には投与しないこと

ナトリウム摂取制限を必要とする患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊娠中毒症等）

#### 2 次の患者には慎重に投与すること

- 1) 重篤な消化管潰瘍のある患者
- 2) 腎障害のある患者
- 3) 心機能障害、肺機能障害のある患者
- 4) 低フロル性アルカローシス等の電解質失調のある患者

#### 3 副作用

- 1) 代謝異常 アルカローシス、ナトリウム蓄積による浮腫等の症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。
- 2) 消化器 ときに胃部膨満、またまれに胃酸の反動性分泌等の症状があらわれることがある。

#### 4 相互作用

- 1) 消化管内・体液のpH上昇により、併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがあるので、慎重に投与すること。
- 2) 大量の牛乳、カルシウム製剤との併用によりmilk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

製造発売元

合名会社 金田直隆商店

大阪・道修町